

県立加茂病院の改築事業に関する住民説明会 質疑応答（概要）

【開催日時・会場・参加者】

平成 27 年 9 月 13 日（日）

	時間	会場	参加者数
第 1 回	10:00～11:35	田上町総合保健福祉センター ホール	42 名
第 2 回	14:30～16:35	県立加茂病院 3 階講堂	66 名
第 3 回	19:00～20:45	県立加茂病院 3 階講堂	32 名

【質疑応答概要】 ※要約して掲載しており文責は病院局業務課にあります。

- 1 日も早い工事着手と新病院のオープンができるよう、大変かもしれませんが頑張ってもらいたいと思います。
- 加茂病院の改築は、田上と加茂の人間だけで造るわけではありません。県全体の皆様の税金を使わせていただくわけですから、その辺りの視点をよく考えていただきたいと思います。
⇒（病院局回答）
大変ごもっともなお話しだと思います。病院局が所管する県立病院は 13 病院ございますが、それぞれに役割を持たせて運用することで、県民の皆様方のニーズに対応していきたいと思っております。加茂病院については地域医療病院ということで、地域に密着した医療を提供していきたいと思っております。
- 私ども「患者と家族の会」の会員の声を皆さんにぜひ聞いていただきたいと思っております。
『県と加茂市長の対立は市民にとっては大変悲しいことです。早急に事態を収束して、早い開院をお願いします。』
『早期開院をお願いいたします。加茂市の宝、加茂病院を家族で応援しています。』
『1 日も早く開院を望んでいます。よろしくをお願いいたします。』
『加茂市の人口推移、県央基幹病院ができることなどを考え合せますと、県が示した案が妥当だと思います。特に産科 20 室は現実的ではありません。高齢者の多い加茂市にあっては、最も重要なことは、1 日も早く加茂病院が完成することで、多くの人がそのような希望です。どうか多数の市民の要望を汲み取っていただきたいと思っております。』
『今、県立病院の現状は大変厳しいものがある中、加茂病院は大変恵まれていると思っております。市民の大半は 1 日も早い開院を望んでいます。もっと市民の声に耳を傾けてほしい。』
私たちは 1 日も早い開院を望む加茂地域の声を、加茂市長へ届ける運動をしていこうと思っております。
- 県と小池市長との間でいつまでも今のような状態が続くと、加茂病院の改築の話はどこかへ行ってしまわないのか心配です。
- 少しずつでも早期開院に向けて頑張っていたいただきたいと思っております。

- 加茂病院の改築が無理であれば、田上町に県立田上病院を造っていただきたいというのが素朴なお願いです。
⇒ (病院局回答)
御要望という形で受け止めさせていただきます。ただ、加茂病院は現地改築という方針で進めていますので、現実問題なかなか難しいということで御理解いただければと思います。
- 行政手続が進まないことへの打開策があるのか教えてください。
⇒ (病院局回答)
行政不服審査や是正の要求など、仕組みとしてはございます。そういった手段をとるのが良いのかをよく検討するとともに、適正な形で事務処理がなされるよう、引き続き要請をしていきたいと思っています。
- 改築事業が進んでいないことが、12月議会における予算要求の障害となることはありますか。
⇒ (病院局回答)
加茂病院改築に関しまして、平成27年度の当初予算で、平成27年度から平成32年度まで継続費という形で、およそ75億円の予算を既にいただいております。今の計画の通りであれば、当面の心配は要らないと思っております。
- 「加茂・田上地域の医療を発展させる会」としては、現状の医療の中では病床数(180床)は妥当と考えておりますし、緩和ケア病棟や多目的ホールが設置されることなど、大変歓迎しています。まずは、今の計画で予定通り建てていただきたいと思っています。産科の個室数については、産科医が増えた結果、足りなくなったら増床もできるということなので、その辺りについて、加茂市長に御納得いただけるような説明を、県からお願いします。
⇒ (病院局回答)
個室数については、隣接した病棟間で弾力的に運営することで対応は可能と考えており、医療ニーズの変化には増改築により対応いたします。また、医師確保についても引き続き全力を挙げて取り組んでいきたいと思っています。
加茂市長さんの御理解をいただいた上で、良い病院を造ることが大事だと思いますので、早期に改築へ向け、引き続き努力をしていきたいと思っております。
- 県と市がお互いに理解し合えないと、私たち患者が一番困ります。1日も早く開院するため、私たちが市民の立場でできることは何か、一生懸命考えていきたいと思っています。
- こういう説明会を開かないといけなくなった主な理由、責任は県にあると考えています。
⇒ (病院局回答)
皆様に誤解があってはいけないと思い、この説明会を開催し、これまでの経過等について詳しく説明させていただきました。
- 加茂病院は老朽化している。加茂市の安心な生活を確保するという点で、早期の開院を求めます。県が示している改築計画は決して不十分だとは思いませんので、できるだけ遅滞なく、当初の目標通り開院に踏み切ってもらいたいです。そのために、できるだけ早く打開策を検討していただきたいと思っています。

- 「医療ニーズの変化には、患者様の使い勝手を考慮した施設を増築することで対応」という説明がありましたが、いつ頃になると増築が見えてくるのか教えてください。

⇒ (病院局回答)

例えば県立病院で一番新しい県立新発田病院（平成 18 年 11 月移転開院）では、PET-CTを整備するため、今年度もう増築を始めています。加茂病院の増築が具体的にいつとは一概には申し上げられませんが、医療ニーズの変化に応じてやらせていただきたいと思いますとおっております。

- 計画通知については、「加茂市が書類の受取後放置」とされているが、このまま放置された場合、この先も改築はできないことになるのか教えてください。

⇒ (病院局回答)

計画通知は、加茂市を經由して三条地域振興局の建築主事に提出することが、県条例で定められています。そのため、加茂市が留め置いている限り、先に進むことは難しいとおっております。

- 県は過大な要求だと言いましたが、造り替えても 5 億円程度しか変わりません。加茂市ではなく県が造るのだから、その程度はいいと思います。わざわざ造るのであれば、拙速に中途半端な病院を造るより、少しでも良い病院を造ってもらいたいです。住民納得の上で、遅れてもいいから良い病院を造って欲しいと思います。

⇒ (病院局回答)

時間を掛けて、いろいろな方からの御意見を具体化する形でこれまでやってきておりますので、拙速なものを造っているという意識はございません。また、市民の皆様には、整備基本計画を策定する時にパブリックコメントという形で御意見をお伺いしておりました。

改築には県の公金が使われています。御要望を踏まえて造り替えるための予算の増額が 5 億円程度だから、造り替えてもいいということにはなりません。

また、患者数等のデータを踏まえて、県央基幹病院が設置されることを前提に、県央基幹病院と他の医療機関との役割分担を検討して決定した現計画の病床数等を変更するためには、他の医療機関との役割分担から検討し直さなければなりません。

- 加茂市長は、「県央基幹病院の第一の補完病院」という位置付けだと言われていますが、県が違うと言われているのはなぜですか。

⇒ (病院局回答)

県央医療圏においては、県央基幹病院を整備し、その周辺の病院がそれぞれ役割分担しながら、医療圏全体として必要な医療を提供していこうという考え方になっています。加茂病院については、県央基幹病院の後方病院としての位置付けですので、地域密着型の医療を提供していきたいと考えております。

- 1 日も早い建て替えのため、加茂市長さんに納得していただけるよう、県にはもう少し別な方向から迫っていただけたらと思います。

⇒ (病院局回答)

私どもも知恵を絞ってまいりたいと思いますので、別の方法があれば、御教示いただければありがたいと思います。

- 加茂病院に産婦人科ができれば、燕、三条、見附の人も加茂病院で産もうと思うかもしれませんが、税金をかけても、出産から医療、介護全てが充実しているのが加茂市だということになれば、加茂市の活性化につながると思うので、早期解決も大事だと思うが、加茂病院の充実化をもうちょっと考えてほしいと思います。

⇒（病院局回答）

燕、三条、見附からも妊婦さんに来ていただくのは大歓迎ですが、最初から民間のクリニック等を押しのけてでもやるというのは、県立病院ですと考えるにくいところです。役割分担や連携の中で進めて行きたいと思っております。

- 加茂市との話が平行線なので、病院改築の予算を市に丸投げしてはどうでしょうか。加茂市も産業が活性化するし、良い病院、市長が思った通りの病院になると思います。

⇒（病院局回答）

市に丸投げすればいいという御意見は承りました。一方で県議会からは、市立病院にしたかどうかという御意見もいただいております。県病院局としては、県立病院として責任を持って医療を提供していきたいと考えております。

- 加茂市長さんが出された要望項目の中で、県の基本構想（計画）の範囲内で妥協できる項目はありますか。

⇒（病院局回答）

市長さんからの要望について、「合理的なものであれば対応させていただきます」と申し上げております。市長さんの要望について、県民の皆様にしかり説明できる考え方を教えていただくということがまず先になるかと思っております。

- 市長の声ではなく、市民の本当の言葉や要望などは聞いていますか。

⇒（病院局回答）

例えば今日のような説明会はもちろん、直接のお電話や、病院での患者さんとのコミュニケーションを通じて御要望等をいただいております。

- もう少し、地元の市民の声をすくい上げていただける方法はないのでしょうか。

⇒（病院局回答）

そのような御意見があったということを踏まえ、市民の皆様の御意見をすくい上げる方法について検討を進めたさせていただきます。

- 市民なり県民なりが見ている公の場で話を進めていただき、何とか落としどころを見つけていただきたいです。

⇒（病院局回答）

市長さんと県病院局、また知事との議論については、公開という形で皆様にも情報提供しながら進めていきたいと思っております。県病院局としてもできるだけ早く解決し、1日も早く良い病院ができるよう、取り組んでいきたいと思っております。